

NETIS : KT-100051-VR登録  
ARIC : I-C-2 ID12220登録

驚異的な厚付を可能にしたモルタル！

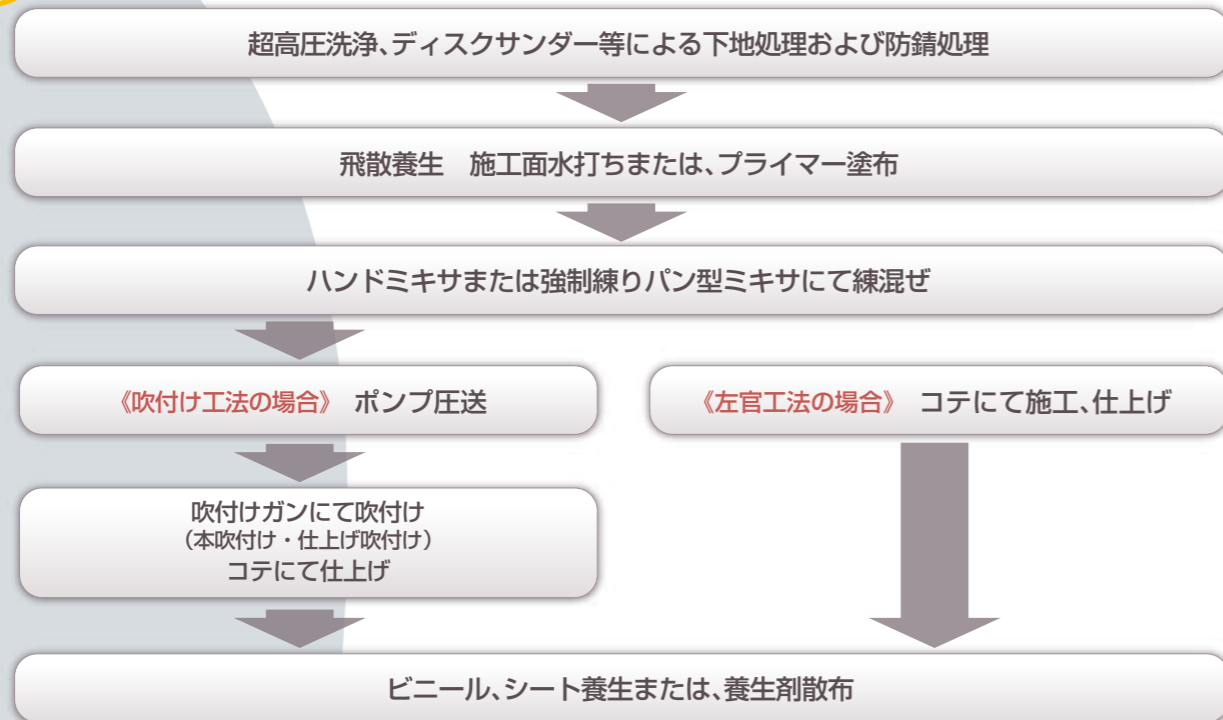


# なおしタル

高チクソトロピータイプ  
無収縮特殊ポリマー系  
断面修復モルタル材

# シリーズ

## なおしタル工法 施工フロー



## 関連商品

種類	商品名
高靱性タイプ 断面修復・表面被覆モルタル材	なおしタルNFJ
空隙充填用グラウト材	なおしタルG
表面保護・表面被覆・表面補修材	なおしタル プロテクト-リペア
下地調整塗材	なおしタル カチオンC-1・C-2
アクリル系吸水調整プライマー	なおしタル コートFP
ケイ酸リチウムアルカリ付与型プライマー	なおしタル コートLS
コテ仕上げ助剤・養生剤	なおしタル コートFA
鉄筋コンクリート用防錆ペースト	なおしタル Lペースト
挿入型犠牲陽極材パッチガード工法※7	パッチガード(亜鉛量62g)
	パッチガード・プラス(亜鉛量120g)
	パッチガード・ウルトラ(亜鉛量180g)

※7 挿入型犠牲陽極材パッチガード工法は、株式会社東京興業貿易商会の製品です。

### 使用上の注意事項

- 水量は、環境温度、施工方法に応じて試験練りを実施の上、決定して下さい。また、練り混ぜ水には上水道水またはこれに準じたものを使用して下さい。なお、「なおしタルシリーズ」各製品の目視での柔らかさは、通常のモルタルに比べ、やや硬く見えますのでご注意ください。
- 本製品の保管方法は、セメントと同様に保管し、破損した袋の製品は使用しないで下さい。
- 取扱い及び施工には、必ず防塵マスク・保護メガネ・ゴム手袋等の保護用具を着用して下さい。
- 本製品が目に入った場合、皮膚に付着した場合は、速やかに洗浄し、専門医の診断を受けて下さい。
- なおしタル工法で使用される材料は、必ず製品安全データシート(MSDS)をご確認の上ご使用下さい。

「なおしタル」は、「宇都宮大学工学部」「株式会社ニューテック」「ドーピー建設工業株式会社」の3者共同開発製品です。

## なおしタル工法研究会

**株式会社ニューテック**

〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9  
TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687  
URL <http://www.kknewtech.co.jp>

# なおしタルシリーズ

「なおしタル」シリーズは、使用時に所定量の水を加え、練り混ぜることにより使用できる、特殊ポリマー系（従来のポリマーセメントモルタルに使用しているエマルジョンとは異なる）プレミックスタイプ断面修復用モルタル材です。高い強度性能で付着性にも優れ、なおかつ高い無収縮性能を有し、トンネル・橋梁等の土木構造物のほか、建築構造物の断面補修にも使用することができます。



## なおしタルN

一般的なかぶり補修・断面修復・凹凸部の平滑化に使用可能

## なおしタルNF

寒冷地における断面修復等にも使用可能

## なおしタルH

高強度構造物におけるかぶり補修・断面修復等に使用可能

## なおしタルG

空洞充填他注入工事に使用可能

## 特長

### 高チクソトロピー性

硬く見えるが、力を加えると動き出す。力を取り除くと形を維持する性質に優れています。

### 高強度・耐火性

無機系に近い原料構成のため、高強度性能・耐火性に優れています。

### 高無収縮性

施工直後の乾燥によるひび割れ抵抗性も高く、市販の断面修復用モルタル材以上の無収縮性能を有しています。

### 厚付けが可能

最大施工厚の目安

	左官工法		湿式吹付け工法 (一回の施工当り)	
	垂直面	天井面	垂直面	天井面
なおしタルN	5~60mm	5~30mm	150mm	100mm
なおしタルNF	5~60mm	5~30mm	150mm	80mm
なおしタルH	5~40mm	5~20mm	150mm	30mm

※厚付け厚さは、下地の状態・材質（一部材質は付きづらい場合があります）により異なります。  
※左官工法の場合は、1層目~2層目を塗る間隔は、30分以上空けて施工します。

### 工期短縮

高いチクソトロピー性を有している為、容易に厚付け施工ができ、工期短縮へと繋がります。

### 施工方法が選べる

湿式吹付け工法・左官工法のいずれの施工方法も用いる事が可能です。

### 静弾性係数が高い

コンクリートと同等の静弾性係数を有しています。



● 垂直面



● 水平(天井面)

## 用途

- トンネルの補修、橋梁の補修、農業開水路の補修、他土木構造物の補修
- 地下構造物の補修、浄水場設備の補修、他建築構造物の補修
- かぶり補修（5mm以上）、コアボーリング後の孔補修、はつり後の補修
- 海洋構造物（栈橋等）の断面補修
- 床面表層保護・目違・不陸調整、凹凸部の平滑化
- 耐震補強工事、繊維補強後の表面被覆

## 物性試験例

	水量 (製品×%)	練上り温度 (°C)	モルタルスランプ (mm)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )			付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	静弾性係数 (KN/mm <sup>2</sup> ) 28日	長さ変化 28日
				3日	7日	28日			
なおしタルN	14.8	21.0	37	26.3	36.1	54.5	2.55	27.7	-150×10 <sup>-6</sup>
なおしタルNF	15.6	20.0	40	38.2	51.2	64.6	2.42	29.0	-350×10 <sup>-6</sup>
なおしタルH	13.2	20.0	65	51.5	66.2	77.3	2.49	33.9	-250×10 <sup>-6</sup>

※養生条件：20℃、湿度60%、気乾養生

	水量 (製品×%)	練上り温度 (°C)	フロー値 (mm)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )					静弾性係数 (KN/mm <sup>2</sup> ) 28日	長さ変化 28日
				標準養生		気乾養生(20℃、湿度60%)				
				7日	28日	3日	7日	28日		
なおしタルG	18.4	20.0	58.2	41.8	64.9	26.6	41.6	66.3	25.8	-200×10 <sup>-6</sup>

※物性試験例の数値は、品質を保証するものではありません。



● モルタルスランプ試験



● チクソトロピー性簡易評価試験



● 鉄筋背面への充填性試験

## 仕様

タイプ	1袋あたりの入目 (kg)	水 (kg/袋)注※	練上り量 (ℓ)	1m <sup>3</sup> あたりの使用量 (kg/m <sup>3</sup> )
なおしタルN	20	2.5~3.2 (標準水量：2.8)	約 10.5	1900 (20kg×95袋)
なおしタルNF	25	3.6~4.6 (標準水量：4.0)	約 13	1925 (25kg×77袋)
なおしタルH	20	2.1~3.0 (標準水量：2.5)	約 10	2000 (20kg×100袋)
なおしタルG	25	4.2~5.0 (標準水量：4.6)	約 13.5	1825 (25kg×73袋)

※水量は環境温度・施工方法等により変動します。なお、特殊工法等により範囲を外れて使用する場合は、弊社担当までご相談ください。